

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年2月15日

事業所名 おひさまSun 保護者等数(児童数) 47 回収数 44 割合 94 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	39	5			子どもの人数が多い時は、狭くなるがしようがない。 人数が多くなると仕方ないですが、遊びの種類をきいて、ロッカーやマット等、出来る限りして下さっていると思います。 人数が増え、危ないと思うことがある。 ゲームあそびで10人程度で活動する際、少し狭さを感じることもある。 人数が増えてきたので、活動する場所が狭く感じました。 拝見、ご説明頂けており、満足しています。	・室内に限らず園庭遊び、お散歩、行事等を工夫し、取り入れるようにしています。 ・室内活動に於いては、最低基準以上の活動室の広さは確保していますが、今後も人数に応じて工夫していきたいと思っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	42	2			適切である。 子どもが奇声を上げている時等すぐ対応して接し方を教えて下さり、感謝しております。 先生方一人ひとりの子ども達に対する配慮がとてもありがたいです。 大変そうなに専属でついているイメージ。 拝見、ご説明頂けており、満足しています。 子どもの人数が多い時、動きが多い子が多い日は、先生方も余裕がなさそうで心配な日はあります。	・体制等ばたばたしてしまう時があり、申し訳なく思っています。 ・活動に複数職員が入ること、対応できるように心掛けています。 ・日々、打ち合わせや振り返りの時間を設け、活動の反省等に活かせるように話をするようにしています。 ・研修や勉強会等を通して、専門的に学べるように努めています。 ・お子さんの目標に合わせて対応するように心掛けています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	43	1			子どもの様子から不安はない様です。 たまに廊下にマットや活動に使用した道具がそのままになっている。 親へのお知らせや壁に貼り出している情報をもう少し見やすく配置しなおして欲しい所もあります。	・職員間で打ち合わせ等で話し、道具をなおす場所等を気をつけながら改善できるようにします。 ・掲示物については、安全面から子どもの手の届かない場所に掲載するようにしています。分離室、更衣室の掲示物共に見やすい場所等を検討して配置できるようにします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	39	5			活動しやすく考えて下さっていると思います。 物、一つ置いていないので、怪我等せずにのびのびし、安心して利用できています。 時々、手洗い場の床が濡れており、子どもが濡れているのを嫌がって歩こうとしない事があります。 マットがあれば有り難いです。 拝見、ご説明頂けており、満足しています。	・マットについては、安全面に考慮しながら設置できるようにしたいと思います。 ・お子さんによっては感覚が苦手なお子さんもいらっしゃいますので、グループ全体の様子を見ながら設置しています。
5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	44				保護者の意見をおひさま相談センターと共有してくれているので、課題が分かりやすいです。 拝見、ご説明頂けており、満足しています。	・今後も一人ひとりに合わせられるように設定し、保護者の方と話す中で、ニーズ等を取り入れながら課題を計画に反映します。	
6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	42	2			自分がまだ詳しく分かっていません。 保護者の意見をおひさま相談センターと共有してくれているので、課題が分かりやすいです。 項目文が難しく、分からないことがありましたが、前年度のを拝見し、了解できました。 個々に応じた支援内容が具体的に設定されているようには感じない。	・目標の話だけでなく、支援内容を具体的に話することや連絡会を大事にしています。その中で、支援内容をより具体的に話ができるように心掛けています。 ・保護者の方のニーズも取り入れるようにしていますので、疑問点等お話しして頂ければと思います。	
7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	39	3		2	意見を伝えると次の活動の時に様子を見てくれたり、次回の活動へと繋げてくれます。 毎度、有り難い程の工夫で一人ひとりに沿った支援がなされています。 支援計画に沿った支援というより、月の活動に沿ったものでは。	・おたよりでは、グループの月の計画となっていますが、その中で、支援計画・支援内容については、打ち合わせの時間や振り返りの時間等でお子さんに合った支援を考え、共通理解できるようにし、支援へと繋げるようにしています。 ・月の計画では、感覚遊び、運動遊び、製作遊び、お散歩等感覚統合を主に取り入れるようにしています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	40	4			その都度、振り返りで反省点や課題等を話してくれず。毎度、有り難い程の工夫で一人ひとりに沿った支援がなされています。毎日の活動は変えてあると思うのですが、お遊戯等の小さいプログラムの踊りや曲も変えて欲しい。	・お遊戯等の曲等については、活動が始まる期待が持てるように、見通しを持って活動に安心して入ることができるよう、同じ曲を使用しています。 ・子どもたち自身が出来たという達成感も味わえるように同じ曲の中で、関わり方や提示の仕方を工夫するようにしています。
	8 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の子どもと活動する機会があるか	21	5	4	14	くすの子保育園との交流はある。連絡会はとても助かります。まだ、そのような機会に合っていないが、隣の保育園に通っている。まだ参加した事がないですが、機会があれば楽しみです。	・登録の9割のお子さんが幼保・認定こども園に併行通園しています。 ・くすの子保育園と種まきの機会に交流できるようにしています。その後も園庭での活動等を通して、交流に繋がっています。 ・地域の行事等をお知らせ出来るようにしています。
	10 幼稚園・保育園・認定こども園とおひさまSunの連携がとれているか	29	4		11	保育園の先生方と連携して頂き、助かっています。とれている。月1回の訪問は有り難いです。幼稚園とおひさまSunと話通っている、ありがたいです。幼稚園での様子も定期的に教えて欲しい。連絡会后、先生と話したことを教えて頂いているので、とれていると思います。定期的に話し合いをしていないと思う。くすの子保育園に転園しない限り無理だと思う。まだ日も浅くわからないですが、連絡会に参加させて頂こうと思います。	・連絡会を年2回計画しています。保護者から聞いて欲しいこと等を含め、話をしたことや情報交換を行ったことに関しては、保護者へお伝えできるように心掛けています。今後もより良い連携ができるようにしていきたいと思います。
適切な 支援の 提供	11 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	43			1	忘れたり、わからなかったりするといつでも回答をもらえる。領収書あり。	・初めての方には、配布と合わせて説明するようにしています。また、領収書等も配布するようにしています。
	12 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	42			2	プリントを頂いたり、一緒にを通して読みあげて頂いているので、その時に理解しています。丁寧にされていました。毎回の振り返りで説明(支援内容)して下さっています。	・振り返りや個別に説明するようにしています。
	13 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	31	6	1	6	その都度質問したり、相談することができている。家庭でも実践できるようにアドバイス頂き、効果が得られていると思います。特性に合った声の掛け方等を教えて頂きたいです。面談とは言わず、いつでも相談に応じて下さいますし、ペアレントトレーニング等も一緒に助言も頂いています。何にでもよく褒めて頂けますが、言う事を聞かない時の対処の仕方なども教えて頂きたいと思う時があります。行われていないように感じます。	・家族通園を通してきて頂いているので、客観的にマジックミラーから見たり、話をしたりしながら擦り合わせを行うようにしています。また、懇談会や療育相談の実施、子どもに合わせながら保護者と一緒に活動するグループ等も設定しているため、一緒に考え、実践できるようにしています。今後、ペアレントトレーニング等も考えていきたいと思っています。 ・一人ひとりに合わせながら対応できるように心掛けています。
	14 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	42		1	1	幼稚園の訪問等その都度情報交換や活動での課題の話ができている。仕事の都合でなかなか伝え合えない事も。毎回細かい気づきを頂き、声掛けて頂いています。特性に合った声の掛け方等を教えて頂きたいです。面談とは言わず、いつでも相談に応じて下さいますし、ペアレントトレーニング等も一緒に助言も頂いています。日々変わる子どもの成長に合わせて悩みを聞いてもらえ、アドバイスをもらって助かっています。	・振り返りの中で話をすることや専門療法師の先生から頂いた話等も振り返りながら保護者と話ができるようにしています。 ・特性に合った関わり等今後も具体的に話ができるように心掛けていきます。
	15 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	38	4		2	できている。自分では気づかない子どもの変化等教えて頂いたり、成長を喜んでもらえたりすることで、前向きに関わることができていると思います。振り返りの際、ねらい、関わり方結果、今後の課題等明確に伝えて欲しい。事実のみではなく。本当によく共通理解してもらっています。日々変わる子どもの成長に合わせて悩みを聞いてもらえ、アドバイスをもらって助かっています。	・随時、話ができるように心掛けています。また、就園、就学等お子さんのタイミングを見ながらお声掛けさせてもらっています。 ・複数職員が入ることで、一人ひとりと話ができるように心掛けています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	16 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	31	3		10	活動中、(分離)の際、意見交換できている。懇談会に参加させて頂いたのですが、長机からかとても緊張しました。はじまりの会の様な形だとどうでしょうか。保護者同士の交流ももてて、いい機会になりました。	・分離のグループ等に関しては、分離室にて保護者同士話ができるように部屋や時間を設けています。 ・懇談会は年3回計画しています。会場等今後も話やすいように検討していきたいと思います。
	17 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	43	1			その都度、相談に応じてくれたり、時間を作ってくれている。兄弟共によくしてもらっている。	・その日に対応できていない時もあり、申し訳ありません。相談等に関しては、その時や後日等、対応できるようにしています。
	18 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	43	1			困ることは今のところありません。ご説明頂けており、満足しています。	・打ち合わせや振り返り等を通して、職員同士情報共有しながら対応しています。また、保護者の方と随時話をさせてもらい、次に繋げられるようにしています。
	19 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	43	1			ホームページの紹介は受けたが、月のおたよりを活用している。ご説明頂けており、満足しています。	・ホームページにおたよりや行事等を月に1回更新しています。 ・今年度の自己評価の結果に関しては、懇談会やホームページにてお知らせ・掲載予定です。
	20 個人情報の取扱いに十分注意されている	42				2 心配はしていません。最初でお願いしてあるので。その都度聞いて来られるので。ご説明頂けており、満足しています。	・契約時に説明させてもらっています。 ・別に掲載する際は、随時確認するようにしています。
非常時等の対応	21 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	36	2	1	5	よく分かりません。必要に応じた際に説明を受けたりする。まだ、通って一度もないような、休みの日に合ったのかもです。	・契約の際や感染症に関しては、振り返りの際に話をするようにしています。また、更衣室、分離室に掲載するようにしています。 ・不審者対応も計画するようにしています。
	22 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	42	2			訓練等行われているが、都合が悪く参加できないこともある。私は、参加した事がないですが、保育園と一緒にしていると思います。行われているとおもいます。	・月に1回避難訓練を計画しています。様々な火事・地震・風水害等を想定し計画するようにしています。 ・くすの子保育園と合同の総合避難訓練を年1回行うようにしています。
満足度	23 子どもは通所を楽しみにしている	40	4			疲れていると嫌がることもあるが、行くと参加してくれているので、楽しみにしているのだと思います。楽しみにしています。慣れてきたことで、自分からの発信が多くなり、受け止めて頂いて自信となっている気がします。門の前に来るとすぐ部屋に走って行く姿を見ると楽しみです。毎回、「今日のおひさまSunは何するの?」と聞いてきます。毎回の活動も本当に楽しんでいる様に思います。お休みの日にも「おひさまSun行く?」と聞いてくる程楽しみの様です。落ち着きがないのは大きく変化はありませんが、療育のおかげか小さな成長はできているので、よろしく願います。	・職員全員が子どもが楽しめるように活動を計画し、対応や自信へと繋がる様に心掛けています。 ・子どもにとってどういう対応がいいのか迷われた際はいつでも連絡を頂き、対応できるように心掛けていきたいと思っています。
	24 事業所の支援に満足している	44				先生達の優しい支援や適切な判断と対応に感謝しています。満足している。いつも声掛けや支援の工夫をしてくださり、ありがとうございます。本当に通って良かったと感謝の気持ちです。おひさまSunに通えることになって本当に良かったと感じています。心に寄り添う支援に心から感謝しています。	・家族通園を通して、日々の活動や関係機関等との連携を大切にしながら対応していくことを大事にし、よりよい形で支援できるように心掛けています。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年2月15日

事業所名:おひさまSun

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		人数が多い際や行事等の際は、内容を考えながら過ごしやすいように設定を心掛けています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		4:1の基準の中、子どもに合わせて+1~2人配置しています。専門療法士の先生方にも来て頂いています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		改善する機会を設けています。視覚的にも分かりやすいように設定しています。また、心のバリアフリーも大切にしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		掃除を毎回行い、活動の前日までに環境設定できるようにしています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		業務の見直しについて定期的に話合える機会を設けている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			意向を把握し、改善に努めています。また、事業所等の考えを伝える機会となっています。今後に繋げていきたいです。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページの掲載と合わせて、懇談会にて説明しています。懇談会の参加が欠席の方には、後日振り返り等でお話しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部に評価をお願いしていないが、第三者委員会にて評価を聞く機会を設けています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		常に研修に参加できるようにしています。専門療法士の先生から意見を取り入れ、学ぶ機会を設けています。他事業所との連絡会や幼保小等の連絡会も大事にしています。	
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		SDQを活用し、アセスメントを行っています。関係機関の情報も保護者からもらい、参考にした上で、反映するようにしています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		SDQを活用し、アセスメントを行っています。関係機関の情報も保護者からもらい、参考にした上で、反映するようにしています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		検討会議を行いながら作成しています。連絡会等も大事にしていますので、記入をしながら保護者と話をするようにしています。個別支援計画に掲載するようにしています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		振り返りの時間等大事にしていることや専門職の先生方にも意見を頂きながら支援へ繋げるようにしています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		素案を元に参加スタッフ全員で行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月の計画で活動内容が固定化しないようにしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別対応で設定したり、状況に合わせてたりしながら計画を作成しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		打ち合わせやケースカンファレンスを行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		保護者との振り返りや職員との振り返りを行い、次に活かすことができるようにしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個人記録、全体記録をとり、つなげている。また、子どもの状態や保護者からの話も記録しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		日々の話や連絡会等の内容等も記載し、反映しています。	
	関係性	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が中心に、担当者も参加しながら行えるようにしています。
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保健センター等での総合発達相談会への参加や連絡会等への参加、おたよりの掲載等を通して、連携を図ることを大事にしています。	
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				今、現在は対象児がいません。
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				今、現在は対象児がいません。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		幼保連絡会、幼保小連絡会を行い、連携を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援シートと併せて、就学先が決定した後連絡会を行い連携が図れるようにしています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修や公開療育等を通して、連携を図り、他事業所との勉強会を年2回行っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		同法人の保育園の園庭を利用した活動や行事を行い、登録児の9割近くが、幼保・認定こども園と併行通園しています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		理事長が子ども・子育て会議の委員、管理者が子ども部会の委員になっています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		家族通園の為、活動の前後、保護者と打ち合わせや振り返りを行います。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		ペアレントプログラムは行っていませんが、家族通園を通して、年3回の懇談会、療育相談の実施、振り返りや随時相談、保護者一緒に活動をする機会を設け、話をしていくことが当事業所のペアレントトレーニングと考えています。	保護者からの希望もあり、事業所でペアレントトレーニング等を考えていけるようにしています。
保護者	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っています。変更等については、活動の振り返りの際に話をするようにしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		半年に1回になるが、話しをしながら反映し、同意を得ています。ニーズが変更する場合は、記録に掲載し、話しができるように心掛けています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		日々の振り返りや個別支援計画を通して、話す機会を設けています。希望に応じて随時面談を行っています。就園・就学前、年度が変わる時に話ができるように心掛けています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			父母の会は設立していないが、分離・懇談会、行事等を通して保護者同士のコミュニケーションが図られるように心掛けています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
への説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		随時相談等、対応できるようにしています。	体制等で早めにお答えすることが出来ない場合もありましたので、後日相談の場合は、早めに調整できるようにしたいと思います。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページやお知らせを掲示しています。振り返り等直接話をさせてもらっています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		契約の際に確認しながら話をしています。ホームページやビデオ等を行う場合は、随時確認するようにしています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		家族通園の為、一緒に考えたり、関わり方等の話をしたりしながら繋げられるようにしています。子ども一人ひとりに合わせた対応を行うようにしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	職員が町内会に参加したり、隣接している保育園と一緒に行事を行っています。	必要に応じて検討していきたいと思っています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		掲示等を行い、周知しています。	掲示等の場所等も今後はお知らせしていけるようにしたいと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月避難訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		家族通園の為、直接保護者の方等と話をしていることや健康チェックに記入してもらっているので、把握し、確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		医師への診断書を基に除去食を提供しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			外傷記録を作成し、ミーティングや朝礼等で伝達や意見交換をすることで、防止に努めています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		必要に応じて関係機関と連携を行っています。職員も研修へ参加するようにしています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		基本、身体拘束を行っていません。